

# 教科「地理歴史・公民」の学び方

## 教育目標

1. 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。
2. 国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家の一員として必要な公民的資質を養う。

## 具体的な目標

(現代社会)

- (1) 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深めます。
- (2) 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養います。
- (3) 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てます。

(地理A)

- (1) 現代世界の地理的な諸課題を地域性をふまえて考察し、現代世界の地理的認識を養います。
- (2) 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人として自覚と資質を養います。

(世界史A)

- (1) 近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら考察する。
- (2) 現代の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。

## 学び方

基本的には一斉授業の形態をとります。授業の内容としては教科書、ノート、補助プリントを使用しながら、発問をしていく形となります。そのために、評価の観点としては、

- (1) ノート、プリントの提出にて関心・意欲・態度を評価していく。
- (2) 定期考査や一斉テストを通じて知識・理解、思考・判断・表現、技能や資料の活用を評価していく。

つきましては普通の授業を大事にすること。しっかりと授業を聴き、テスト勉強では教科書・ノート・プリントをしっかりと復習していくことが大事になります。そのことが評価に大きく反映してきますので、しっかりと家庭学習をして下さい。だれでも努力さえすれば高評価を得ることができる教科です。

地道に着実に授業内容を自分のものにして下さい。また、課題やプリント・ノート提出の期限を確実に守ること。以上のことをしっかりと守り、元気に頑張ってくれることを期待しています。決して難しいことは要求していません。社会人として巣立っていくには、「信頼される人になる」ための最低限のルールです。